

松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第40号

発行 平成22年5月24日

自分の心をみつめる巡拝の旅

衛門三郎伝説にみる巡礼の意義

四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅を始めました。伝説によれば、四国八十八ヶ所は弘仁6年に弘法大師42歳のときに開創されたといわれます。また、札所それぞれに弘法大師に関する逸話が残っています。その代表的なもののひとつに四国遍路の始まりといわれる衛門三郎伝説があります。

ある日、旅のお坊さんが衛門三郎の大きな屋敷に托鉢に来ました。強欲非道な衛門三郎はお坊さんを追い返しますが、お坊さんは何度もやって来ます。頭にきた衛門三郎はお坊さんの手にあつた鉢を地面にたたき落としてしまい、落ちた鉢は無残にも8つに割れてしまいました。その後、衛門三郎の8人の子どもたちが次々に亡くなってしまうのです。さすがの衛門三郎も悲しみに明け暮れるのですが、夢枕に旅のお坊さんが現れ、これ



までの罪を償うように諭します。このときに、衛門三郎はあの時の旅のお坊さんが弘法大師であったことに気づきました。これまでの自分の強欲非道な生き方に天罰がくだったことを知り、弘法大師に会って許しを得るための旅に出かけます。大師の足跡を追って何日も何日も旅を続ける衛門三郎ですが、一向に大師に追いつくことができません。21回目の巡礼で病気に

なつて倒れます。そのときに大師に巡り会い、非礼を詫び懺悔して許しを得ますが、そのまま息をひきとります。弘法大師は衛門三郎の手に「衛門三郎再来」と書いた石を握らせて葬ります。その後、伊予の豪族の家に生まれた赤ん坊の手に、「衛門三郎再来」と書か

れた石が握りしめられていたという話です。

四国八十八ヶ所をぐるぐると回りながら懺悔の旅を続けた衛門三郎の姿には、内容はともかく衣食住に恵まれながらも、その幸せに気づかず不平不満を並べる私たちの愚かな心が見え隠れします。きつとその先にはもつと幸せな世界があるんだとさらなる快樂を求めてさまよう姿は、弘法大師を追いかけても一向に巡り会えない衛門三郎の姿と重なります。衛門三郎は死ぬ間際になつて探し求めた弘法大師に巡り会いますが、自身に備わるみ仏の心によく気づかされたのでしょうか。

白隠禅師が坐禅和讃に説かれる「迷える人間が、自分こそが仏であることを知らず、自分の外に仏を探し求めることは何という空しいことであるう。」(四季社発行「臨濟宗読誦聖典」より)という教えそのものです。

懺悔、感謝、祈り、その想いは人それぞれでしょうが、四国八十八ヶ所巡礼の旅は、弘法大師の足跡をたどりながら、自分自身に本来備わっている仏を見いだす旅、自分を見つめる旅なのです。

四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅

なごやかにかに阿波国17ヶ寺を参拝

松禪寺と楊岐院様(豊岡市日撫)の発願による四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅(豊岡四国霊場巡拝団主催)が始まりました。その第1回を4月26日(月)〜27日(火)に実施しました。初回は残念ながら参加者9名と少人数でしたが、和気藹々と楽しく巡拝の旅を続けました。行き先は、発心の道場である阿波の国(徳島県)の17ヶ寺です。

早朝、楊岐院様を出たバスは午前6時には松禪寺へ着き、一路徳島をめざしました。午前9時には徳島に入り、さっそく第1番札所の霊山寺から巡拝の始まりです。まずは巡拝用品をここで買いそろえました。午前中の5ヶ寺は移動距離も短く天候は快晴、順調に納札を打つことができました。第6番札所安楽寺を参拝後、この宿坊で昼食をいただきました。四国霊場巡拝は、真言宗を拓かれた空海・弘法大師の足跡をたどる供養と修行の旅です。若い人た

ちの巡礼姿も多く見られ、近年では健康、癒し、自己の生き様を見つめるなど多くの老若男女が様々な思いを胸に巡礼の旅に奮起されています。

各札所では本堂と大師堂の二カ所を参拝しますが、お灯明、線香、賽銭を供え、般若心経やご本尊真言、光明真言などを読経します。多くのお参りがあるなか、境内にひびく読経の声が、ひたむきな祈りとなって重なり合います。

26日の午後からも5ヶ寺を参拝し、第7番札所十楽寺の宿坊が今宵のお宿でした。お風呂で汗を流し、ひとときの楽しい夕餉に話もはずみました。

27日、午前6時半から本堂で朝課があり、宿泊者はお参りしなればなりません。読経後、ご住職のお話がありお寺の縁起などについて話されましたが、特別に秘伝



▲ゆっくりゆっくり、大地を踏みしめながら札所をめざします=第10番札所 切幡寺

の人が多くありましたが、足下はもとより、傘だけでは全身ずぶ濡れの状態でした。

午前中に3ヶ寺を参拝しましたが、そのうちの1ヶ寺である第12番札所焼山寺(しょうざんじ)は、「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」といわれるほどの難所だったそうです。今回は小型のバスでしたから山の上の駐車場まで入ることができましたが、それでもそこからさらに上のお寺までしばらくは歩かねばなりません。ましてや横殴りの風雨にさらされ、歩くのも難儀な状態でしたから、余計にそう思えたのかもしれません。雨と風の洗礼を受けてのお参りとなりました。

午後からは4ヶ寺を参拝しましたが、大変な雨と風で、最後の井戸寺でのお参りが終わった時は正直ホッとしました。しかし、「発心の道場」である徳島を巡拝し、最後までこの巡拝の修行をやり遂げようという気持ちにさせていただきました。

次回は、7月26日、27日に実施します。2回目からでもまだ巡拝は満願をめざすことはできますから、ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

法話と読経の春彼岸



▲本山布教師による定期巡教＝3月18日

大本山妙心寺派の布教師さんによる定期巡教を、3月18日午後2時から開教いたしました。今年お出でいただいた布教師さんは、愛媛県宇和島市から来られた光明寺ご住職・今野慈耕師です。昨年までは開山無相大師六五〇年遠諱の關係から、それに因んだテーマが設けられてきましたが、今年「調える」です。妙心寺派生活信条にも「一日一度は静かに坐つて、身と呼吸と心を調えましょ

う」と定められています。

約90分のお話でしたが、普段の暮らしに見られる人間の行動を基に、調えることの意義を話していただきました。一日一度、1時間でも1分でも良いから、心を落ち着かせて気持ちを平常な状態に戻すよう努力してみましようと言っていたいただきました。寒い中、30名ほどのお参りをいただき熱心に耳を傾けていただきました。ありがとうございました。

続いて3月21日彼岸中日は荒れ模様で寒く、お参り皆さんの足下が気になりましたが、彼岸中日の法要を営みましたが、いつもの如く、午前8時から当番さんたちが来られ昼食弁当の料理開始です。手際よく料理され、午前10時半ぐらいにはきれいに弁当箱に詰め終わりました。

午前11時から本堂で彼岸法要を行いました。約30人ほどのお参りがあり、皆さんと一緒にお経をあげました。読経後、本山発行のパンフレットなどを使いながら住職が少しお話をさせていただき、ま

た本堂内に掲げた地獄絵図についても簡単に紹介しました。元禄12年、四世了山鉄和尚の代に寄進されたもので、全部で7幅あります。その後、当番さん手作りの弁

当を「食事五観の偈」をあげていただきました。夜には、兼務寺院の彼岸法要を執り行い、続いて護持会総会に出席させていただきました。

お釈迦さまの誕生を祝いました

子どもの日に「花まつり」を行いました

5月5日は子どもの日、この日は気温も30度近くまで上昇するぐ

き、参拝者に備えました。

らいの快晴でしたが、お寺では仏誕生会を営みました。午前9時半に読経、その後は夕方まで誕生仏を安置したお堂を本堂前に置

本来は4月8日に行うものですが、先代の頃から子どもの日に行うようになりました。お釈迦様の誕生を祝う行事で、花まつり、あるいは降誕会、灌仏会などと呼ばれ、お釈迦様の仏徳をたたえ供養する法要の一つです。子どもの頃、各家庭には今ほどジュースなどの甘み類はほとんどなく、「花祭り」といえば「甘茶」で知られ、水筒や空き瓶（昔はペットボトルなどありません）を持ってお寺に参ってきたものです。今ではすっかり子どもの数も減って、近所の子どもやおとなたちが田んぼ仕事の合間をぬってお参りにきてくれる程度ですが、お参りの人が減っても続けなければならぬ行事の一つです。



▲甘茶をそそぎお釈迦様の誕生を祝いました

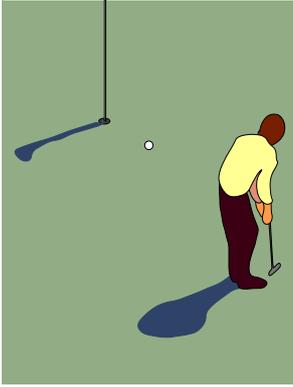
坐禅

体験しませんか

山陰東教区主催の第27回坐禅会が次のとおり開催されます。この機会に坐禅を体験しませんか。妙心寺山内の霊雲院ご住職・則竹秀南老大師の法話もあります。
 日時：6月12日(土) 午後1時より受付、午後6時まで。法話と坐禅など。

教区青壮年部主催ゴルフコンペのご案内

大本山妙心寺派山陰東教区花園会の青壮年部(会長・吉井康成さん)朝来市新井)が、青壮年部の親睦を図ろうと左記のとおりゴルフコンペを計画されました。松禪寺の檀家でゴルフを楽しんでお



6月13日(日) 午前8時より午後3時まで。坐禅、法話、昼食など。
 会場：國清寺(朝来市山東町野間129)
 会費：無料。ただし、13日の参加者で昼食をご希望の方は金1千円必要。
 申込：5月30日(日)までに松禪寺まで。
 服装は、ゆったりした上着と足を組みやすいズボンでお願いします。坐禅を組めない人は正座でも可能です。法話もありますので、筆記用具もお忘れ無く。

【ご案内】
 日時 6月27日(日)、午前9時アウト・イン同時スタート
 場所 山東カントリークラブ
 会費 プレー費、食事、ドリンク付き、参加費込みで1万5千円
 申込 6月17日(金)までに青壮年部会長・吉井康成さんまで。朝来市新井643。お問い合わせも吉井会長まで、電話(079)677・1248

境内地の静寂に心やすらぐ霊園



松禪寺霊園のご案内

松禪寺霊園の使用者を募集しています。お寺の境内地ですので、維持管理はお寺が行います。駐車場のすぐ側にありますので、足の悪い人、車いすを使用される人も安心してお参りできます。松禪寺の檀家、あるいは今後檀家になつていただける人を対象にしています。お問い合わせ、使用ご希望のご相談は、松禪寺か総代役員にお願いいたします。

みずか
 自らを見つめ
 みずか
 自らを調える法会
 ととの
 ほうえ



ごしんけいじゅかい
御親化授戒会
 ととき 平成22年11月21日(日)～22日(月)
 とところ 和田山町竹田 観音寺
 戒師 大本山妙心寺派管長 河野太通老大師

「授戒」とは、私たちが過去において、知り知らずのうちに犯した罪や過ちを悔悟して、人前(僧侶)として正しく仏教の戒を授け、修行の甲斐を感じ、佛の人生を歩むための、仏教徒としての生き方を指導し、お戒壇様のお戒に加入していただくことです。

山陰東教区